

【ロンドンオリンピック やり投げ村上幸史選手スパイクの特長】

●村上選手専用のピン配列

世界記録保持者のヤン・ゼレズニー選手（チェコ）や日本記録保持者の溝口和洋選手の投擲動作から開発したやり投げ専用スパイクをベースに、村上選手の動作解析を行い（文部科学省チーム「ニッポン」マルチサポート事業による筑波大学とミズノの共同研究として実施）、投擲時の最後の2歩に焦点を絞り、より最後の踏み込みを安定させるピン配列に変更しています。

●カーボンシートを使ったベルト構造

アッパー部分は、パワーロスを抑えるために、左右の爪先部分と足首に、軽くて伸びが少ないカーボンシートを使ったベルトを採用。足元をしっかりとサポートし、投擲時の足元のブレを抑えます。

●優れたグリップ性を発揮するアウトソール

アウトソールは、しっかりと地面を捉えるために細かい突起が付いています。従来のソールの突起よりも、鋭い突起形状にすることで、グリップ性を高めています。



村上幸史選手 やり投げスパイク